



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日伝

コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福家 利一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 兼 総務部長 (氏名) 檜垣 泰雄

TEL 06-7637-7000

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	41,980	3.2	1,915	16.6	1,986	15.3	1,198	14.6
25年3月期第2四半期	40,672	△3.8	1,642	△19.0	1,723	△18.4	1,045	△15.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	76.13	—
25年3月期第2四半期	66.41	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	69,579		56,400		81.1	
25年3月期	67,628		55,424		82.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 56,400百万円 25年3月期 55,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	7.0	3,830	16.9	3,970	16.4	2,380	12.5	151.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	15,943,000 株	25年3月期	15,943,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	205,854 株	25年3月期	205,854 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	15,737,146 株	25年3月期2Q	15,737,222 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注意事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
5. 補足情報	8
(生産、受注及び販売の状況)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策などの効果が実体経済にも波及し景気に回復の動きが見られたものの、世界経済の動向による為替のリスクや輸入価格の上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、住宅建設や半導体・液晶関連、自動車関連など一部の業界に改善の動きが見られるとともに、企業収益の増加に伴う設備投資意欲の回復が期待されるなど、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の下で、当社においては期初より『グローバルチャレンジ プラス・ONE 更なる成長から挑戦へ』を基本方針として、刻々と変化する外部環境に対応するため、全社員が「プラス・ONE」の意識を常に持ち、顧客への情報提供、ソリューション提案を進め、新たな販売商品・販路の拡大、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。具体的には、「MEKASYS」ブランドの更なる浸透を図るための展示会への出展に加え、支店・営業所単位でも積極的に展示会や商品セミナーを開催してまいりました。また、真のグローバル化へ向けて海外での営業基盤の強化、拠点の拡充によるサービス向上に引き続き取り組み、平成25年7月にはインドネシアに駐在員事務所を開設したほか、平成25年8月には子会社である「日伝国際貿易(上海)有限公司」が杭州事務所を開設いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高419億8千万円(前年同期比3.2%増)、営業利益19億1千5百万円(前年同期比16.6%増)、経常利益19億8千6百万円(前年同期比15.3%増)となり、四半期純利益につきましては、11億9千8百万円(前年同期比14.6%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ19億5千万円増加し、695億7千9百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ17億8千9百万円増加し、515億5千7百万円となりました。これは、現金及び預金が3億9千7百万円増加、受取手形及び売掛金が8億5千9百万円増加、商品が6億8百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億6千1百万円増加し、180億2千1百万円となりました。これは、有形固定資産が1億9百万円減少、長期性預金が5億円減少したものの、投資有価証券が7億1千8百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ9億7千5百万円増加し、131億7千9百万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ8億5千5百万円増加し、97億9千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が8億2千2百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1億1千9百万円増加し、33億8千6百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金が5億6千8百万円増加、その他有価証券評価差額金が4億6百万円増加したこと等により前事業年度末に比べ9億7千5百万円増加し、564億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億1千4百万円減少し、253億6千6百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億9千6百万円(前年同期において得られた資金4億6千7百万円)となりました。これは主に、法人税等の支払額が7億5千1百万円、売上債権の増加額が8億7千7百万円、たな卸資産の増加額が6億1千万円あったものの、税引前四半期純利益が19億8千4百万円、仕入債務の増加額が9億2千1百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億2千2百万円(前年同期において使用した資金3億3千万円)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が1億2千5百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億8千8百万円(前年同期において使用した資金8億4千4百万円)となりました。これは、配当金の支払額が6億2千8百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成25年5月8日の決算発表時に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,772	26,170
受取手形及び売掛金	19,718	20,578
商品	3,789	4,397
その他	506	432
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	49,768	51,557
固定資産		
有形固定資産	10,742	10,632
無形固定資産	102	159
投資その他の資産		
その他	7,017	7,230
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,015	7,228
固定資産合計	17,860	18,021
資産合計	67,628	69,579
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,191	8,013
未払法人税等	780	815
賞与引当金	397	443
その他	567	519
流動負債合計	8,937	9,792
固定負債		
退職給付引当金	753	729
その他	2,513	2,656
固定負債合計	3,266	3,386
負債合計	12,203	13,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	42,221	42,789
自己株式	△560	△560
株主資本合計	54,311	54,880
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,113	1,520
評価・換算差額等合計	1,113	1,520
純資産合計	55,424	56,400
負債純資産合計	67,628	69,579

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	40,672	41,980
売上原価	34,875	36,037
売上総利益	5,796	5,942
販売費及び一般管理費	4,154	4,027
営業利益	1,642	1,915
営業外収益		
仕入割引	173	159
その他	84	79
営業外収益合計	258	238
営業外費用		
支払利息	38	37
売上割引	126	119
その他	11	10
営業外費用合計	176	167
経常利益	1,723	1,986
特別利益		
投資有価証券売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産処分損	0	2
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	3	2
税引前四半期純利益	1,726	1,984
法人税、住民税及び事業税	631	792
法人税等調整額	49	△5
法人税等合計	680	786
四半期純利益	1,045	1,198

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,726	1,984
減価償却費	260	196
売上債権の増減額(△は増加)	292	△877
たな卸資産の増減額(△は増加)	192	△610
仕入債務の増減額(△は減少)	△931	921
その他	△10	△83
小計	1,529	1,530
利息及び配当金の受取額	60	54
利息の支払額	△38	△37
法人税等の支払額	△1,083	△751
営業活動によるキャッシュ・フロー	467	796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△21
定期預金の払戻による収入	504	9
有形固定資産の取得による支出	△918	△70
投資有価証券の取得による支出	△25	△125
投資有価証券の売却及び償還による収入	206	4
その他	△85	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△786	△628
その他	△57	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844	△688
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△707	△114
現金及び現金同等物の期首残高	23,931	25,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,224	25,366

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(生産、受注及び販売の状況)

① 販売実績

期別	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		比較増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
区分					
動力伝導機器	18,111	44.5	18,557	44.2	446
産業機器	8,242	20.3	8,275	19.7	33
制御機器	14,319	35.2	15,147	36.1	827
合計	40,672 (448)	100.0 (1.1)	41,980 (606)	100.0 (1.4)	1,308 (158)

(注) 1 ()内は輸出高及び輸出比率であり、内数であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

期別	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		比較増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
区分					
動力伝導機器	15,017	43.3	15,929	43.5	912
産業機器	7,133	20.6	7,207	19.7	73
制御機器	12,528	36.1	13,509	36.8	980
合計	34,680	100.0	36,646	100.0	1,966

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。